

●経理上手くんα ProⅡ Version:11.801

●経理上手くんαクラウド ProⅡ・経理上手くんαクラウド SE ProⅡ Version:11.801

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ Atlas シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理 d b (VERSION:11.801) の変更点”を参照してください。

❗ 注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

# 財務処理 d b (VERSION:11.801) の変更点

## 修正

### I. 導入・更新

#### 1) データ抽出

- ①「原票イメージを対象とする」にチェックを付けて仕訳データを抽出した際、抽出先マスターの原票データの内容を管理する番号が重複してしまうケースがあり、その場合に原票ビューア等の業務で一括検証を行うと、エラー内容に「× ファイルが改竄されています。」と表示されていたため、抽出処理時に原票データの内容を管理する番号が重複しないように修正しました。
- ※「原票イメージを対象とする」機能は電帳法対応オプション契約時の機能です。

### II. 登録・入力

#### 1) 元帳検索

- ①元帳検索で資金繰り諸口枝番を選択画面に表示する際に、選択番号が表示されていなかったのを修正しました。

#### 2) 新規会社登録・修正・削除

- ①作成済みマスターの“決算期間の変更”と“枝番・部門を「行わない」から「行う」に変更”するのを同時に行うと不正終了していたのを修正しました。

#### 3) 部門設定 (Pro II のみ)

- ①会社登録業務で、消費税区分集計「部門：行わない」にしている場合、「消費税区分を設定する」を変更できていたため、変更できないように修正しました。

### III. 出力 (DX、Pro II のみ)

#### 1) 試算表・分析表

- ①帳票の形式が“定型”の貸借対照表を出力した際に、検印欄が表示されない場合があったのを修正しました。

### IV. 工事台帳 (建設上手くんのみ)

#### 1) 工事別管理集計表出力

- ①工事別管理集計表タイプ B で出力した際に、共通費配賦の発生欄に出力される金額が正しくなかったのを修正しました。

特定の税率で入力されたデータのみが、配賦されたデータとして出力されていました。

	材 料 費	労 務 費	外 注 費	現 場 経 費	共 通 費 配 賦	合 計
予 算						
発 生		110			1030000	1147010
累 計		110			1146900	1147010
構成比					99.9	
残 高		-110			-1146900	-1147010

通常タイプの出力例（税込マスター、工事 1、共通工事 1 を登録）

仕訳データ

日付	工事	借方	貸方	金額	税額	税区分
4/1	00000001	材料仕入 1 (I)	現金	110	10	内 10%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	1,100	100	内 10%

工事別管理集計表タイプ B 出力データ

出力設定		本来の共通費配賦額	出力された共通費配賦額	
既定	<input type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	1,100	1,100	①
既定	<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	1,100	(空白)	②
税抜	<input type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	1,000	1,000	③
税抜	<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	1,000	(空白)	④

- ① 税率 10% で入力された金額（税込）を配賦。
- ② 本来は¥1,100 と出力されるはずが、空白で出力される。
- ③ 税率 10% で入力された金額（税抜）を配賦。
- ④ 本来は¥1,000 と出力されるはずが、空白で出力される。

仕訳データ

日付	工事	借方	貸方	金額	税額	税区分
4/1	00000001	材料仕入 1 (I)	現金	110	10	内 10%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	1,100	100	内 10%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	10,800	800	内 8%

工事別管理集計表タイプ B 出力データ

出力設定		本来の共通費配賦額	出力された共通費配賦額	
既定	<input type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	11,900	10,800	①
既定	<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	11,900	1,100	②
税抜	<input type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	11,000	10,000	③
税抜	<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	11,000	1,000	④

- ① 税率 8% で入力された金額（税込）のみ配賦されている。
- ② 税率 10% で入力された金額（税込）のみ配賦されている。
- ③ 税率 8% で入力された金額（税抜）のみ配賦されている。
- ④ 税率 10% で入力された金額（税抜）のみ配賦されている。

仕訳データ

日付	工事	借方	貸方	金額	税額	税区分
4/1	00000001	材料仕入 1 (I)	現金	110	10	内 10%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	1,100	100	内 10%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	10,800	800	内 8%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	105,000	5,000	内 5%

工事別管理集計表タイプ B 出力データ

出力設定		本来の共通費配賦額	出力された共通費配賦額	
既定	<input type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	116,900	105,000	①
既定	<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	116,900	10,800	②
税抜	<input type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	111,000	100,000	③
税抜	<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	111,000	10,000	④

- ① 税率 5% で入力された金額（税込）のみ配賦されている。  
 ② 税率 8% で入力された金額（税込）のみ配賦されている。  
 ③ 税率 5% で入力された金額（税抜）のみ配賦されている。  
 ④ 税率 8% で入力された金額（税抜）のみ配賦されている。

仕訳データ

日付	工事	借方	貸方	金額	税額	税区分
4/1	00000001	材料仕入 1 (I)	現金	110	10	内 10%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	1,100	100	内 10%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	10,800	800	内 8%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	105,000	5,000	内 5%
4/1	99999999	雑費(I)	現金	1,030,000	30,000	内 3%

工事別管理集計表タイプ B 出力データ

出力設定		本来の共通費配賦額	出力された共通費配賦額	
既定	<input type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	1,146,900	105,000	①
既定	<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	1,146,900	1,030,000	②
税抜	<input type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	1,111,000	100,000	③
税抜	<input checked="" type="checkbox"/> 期首残高に消費税を反映させる	1,111,000	1,000,000	④

- ① 税率 5% で入力された金額（税込）のみ配賦されている。  
 ② 税率 3% で入力された金額（税込）のみ配賦されている。  
 ③ 税率 5% で入力された金額（税抜）のみ配賦されている。  
 ④ 税率 3% で入力された金額（税抜）のみ配賦されている。

※既定で出力する場合は「期首残高に消費税を反映させる」のチェックは選択できないのですが、出力した時点で隠れているチェックの ON/OFF 状態を取得して出力していました。

未成工事支出金原則（課税対象）タイプでも同様の現象が発生し、未成工事支出金特例（課税対象外）タイプも仕訳入力時に「完成時振替」を用いて入力した場合に同じ現象が発生していました。工事別管理集計表タイプ B、共通費配賦の発生の金額のみ不正な金額になっていました。他の帳票や累計は問題ありません。

## V. その他

---

### 1) クラウド共有に関する対応（共有オプション契約のみ）

- ①クラウド共有オプションの契約はしており、顧問先（上手くんα）にてプログラムがインストールされていない場合、会計事務所側で「共有オプション【マスター紐づけ】」において、共有マスターの登録が行えなかったのを登録が行えるようにしました。
- ②会計事務所、顧問先（上手くんα）の双方が SQL2012 でクラウド共有していて、その後会計事務所側がリブレース（SQL2019）を行った場合、顧問先（上手くんα）側で SQL2012→SQL2019 へバージョンアップができない状態になっていたのを修正しました。

以上